

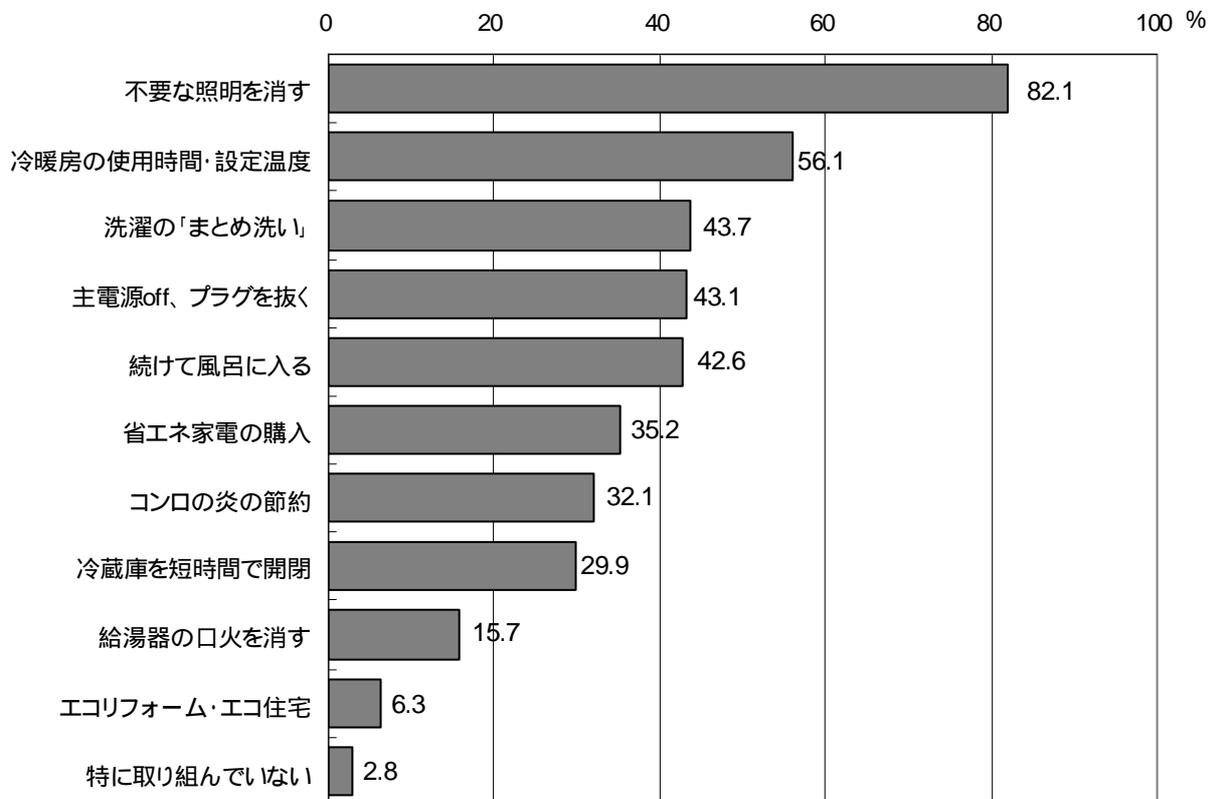
6 . 地球温暖化対策 (個別テーマ)

同6 - 1 以下の取組は、地球温暖化の防止に役立つと考えられています。

あなたが、日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組についておたずねします。あなたが積極的に取り組んでいるものはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(はいいくつでも)

日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組については、「不要な照明はこまめに消す」が82.1%と最も高く、次いで「冷暖房時は使用時間や設定温度に気をつける」(56.1%)、「洗濯はできるだけ「まとめ洗い」をする」(43.7%)などとなっている。また、「特に取り組んでいない」は2.8%となっている。

図表3-6-1 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)



【地域別】

すべての地域で「不要な照明はこまめに消す」が最も高く、特に大きな差はみられない。

図表3-6-2 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組〔複数回答〕(地域別上位7項目)

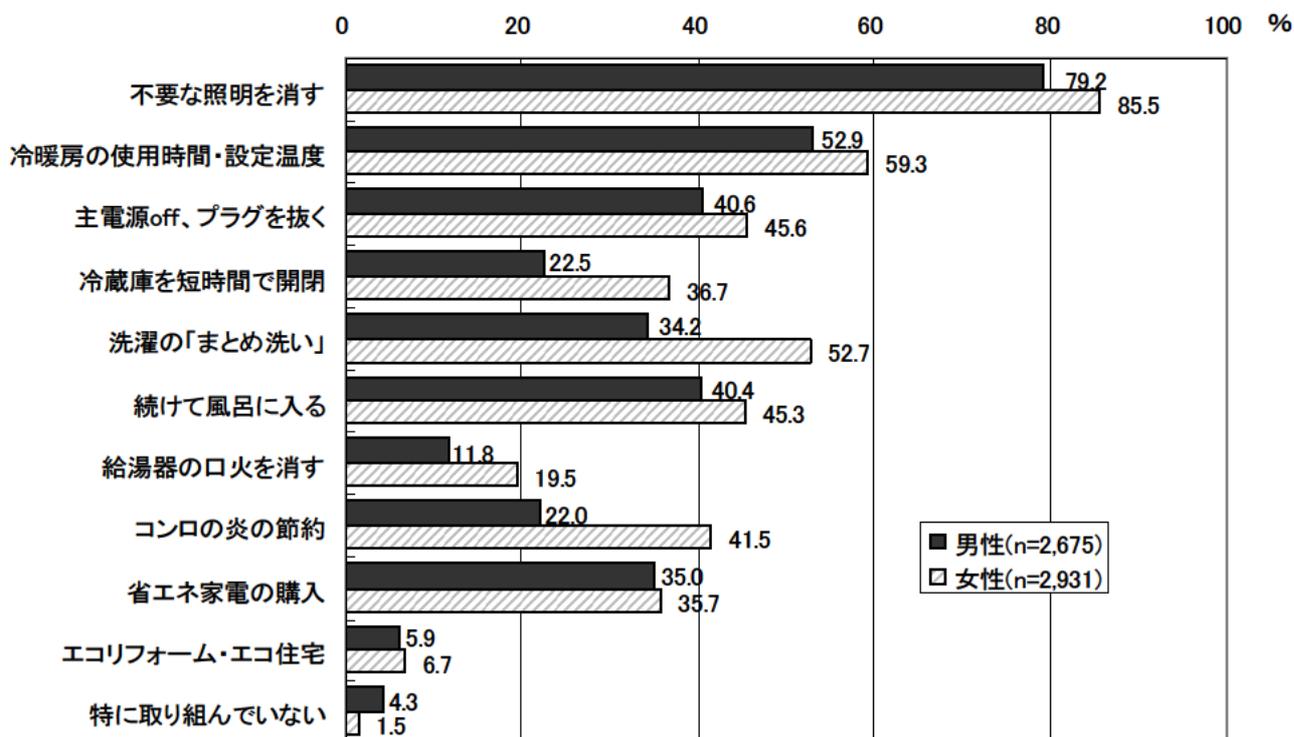
(%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
北勢地域	不要な照明を消す 82.8	冷暖房の使用時間・設定温度 57.9	洗濯の「まとめ洗い」 45.3	主電源off、プラグを抜く 43.9	続けて風呂に入る 42.3	省エネ家電の購入 37.2	冷蔵庫を短時間で開閉 30.7
伊賀地域	不要な照明を消す 86.0	冷暖房の使用時間・設定温度 55.0	続けて風呂に入る 45.2	洗濯の「まとめ洗い」 41.7	主電源off、プラグを抜く 41.5	コンロの炎の節約 35.7	省エネ家電の購入 32.3
中南勢地域	不要な照明を消す 80.6	冷暖房の使用時間・設定温度 54.6	主電源off、プラグを抜く 42.7	洗濯の「まとめ洗い」 42.4	続けて風呂に入る 42.0	省エネ家電の購入 34.7	コンロの炎の節約 32.4
伊勢志摩地域	不要な照明を消す 79.7	冷暖房の使用時間・設定温度 55.2	続けて風呂に入る 43.7	洗濯の「まとめ洗い」 42.6	主電源off、プラグを抜く 41.1	省エネ家電の購入 32.7	コンロの炎の節約 29.6
東紀州地域	不要な照明を消す 84.4	冷暖房の使用時間・設定温度 51.8	主電源off、プラグを抜く 48.7	洗濯の「まとめ洗い」 44.6	続けて風呂に入る 41.5	省エネ家電の購入 31.7	コンロの炎の節約 30.4

【性別】

男女とも「不要な照明はこまめに消す」が最も高くなっている。女性は「洗濯はできるだけ『まとめ洗い』をする」、「冷蔵庫に物を入れるときは適度に隙間をあげ、開閉は短時間で行う」、「ガスコンロの炎が鍋底からはみ出さないようにする」がそれぞれ男性より10ポイント以上高くなっている。

図表 3-6-3 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組〔複数回答〕(性別)



【年代別】

「不要な照明はこまめに消す」がすべての年代で最も高くなっている。「不要な照明はこまめに消す」以外の取組については、概ね年代が高くなるほど高くなっている。70歳以上は「冷暖房時は使用時間や設定温度に気をつける」、「テレビ、エアコン等の待機電力を消費する製品は、長時間使わないときには主電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜く」、「洗濯はできるだけ『まとめ洗い』をする」などがすべての年代の中で最も高くなっている。

図表3-6-4 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)(年代別上位7項目) (%)

年代	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
20歳代	不要な照明を消す 79.8	冷暖房の使用時間・設定温度 46.7	洗濯の「まとめ洗い」 37.4	主電源off、プラグを抜く 続けて風呂に入る 34.5	省エネ家電の購入 23.1	コンロの炎の節約 21.8	
30歳代	不要な照明を消す 82.0	冷暖房の使用時間・設定温度 53.1	続けて風呂に入る 46.1	洗濯の「まとめ洗い」 41.8	主電源off、プラグを抜く 41.0	省エネ家電の購入 35.7	冷蔵庫を短時間で開閉 25.5
40歳代	不要な照明を消す 84.4	冷暖房の使用時間・設定温度 56.2	続けて風呂に入る 44.6	洗濯の「まとめ洗い」 40.7	主電源off、プラグを抜く 40.2	省エネ家電の購入 36.9	コンロの炎の節約 32.6
50歳代	不要な照明を消す 82.0	冷暖房の使用時間・設定温度 56.4	洗濯の「まとめ洗い」 41.0	省エネ家電の購入 39.5	主電源off、プラグを抜く 38.4	続けて風呂に入る 36.8	コンロの炎の節約 30.9
60歳代	不要な照明を消す 82.6	冷暖房の使用時間・設定温度 57.9	主電源off、プラグを抜く 44.9	洗濯の「まとめ洗い」 44.7	続けて風呂に入る 43.0	省エネ家電の購入 37.3	コンロの炎の節約 33.1
70歳以上	不要な照明を消す 82.4	冷暖房の使用時間・設定温度 59.1	主電源off、プラグを抜く 51.7	洗濯の「まとめ洗い」 50.8	続けて風呂に入る 47.3	コンロの炎の節約 40.2	冷蔵庫を短時間で開閉 36.8

【世帯構成別】

世帯構成にかかわらず「不要な照明はこまめに消す」が最も高くなっている。世帯を構成する世代数が多くなるほど「テレビ、エアコン等の待機電力を消費する製品は、長時間使わないときには主電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜く」などは低くなっている。

図表3-6-5 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)(世帯構成別上位7項目) (%)

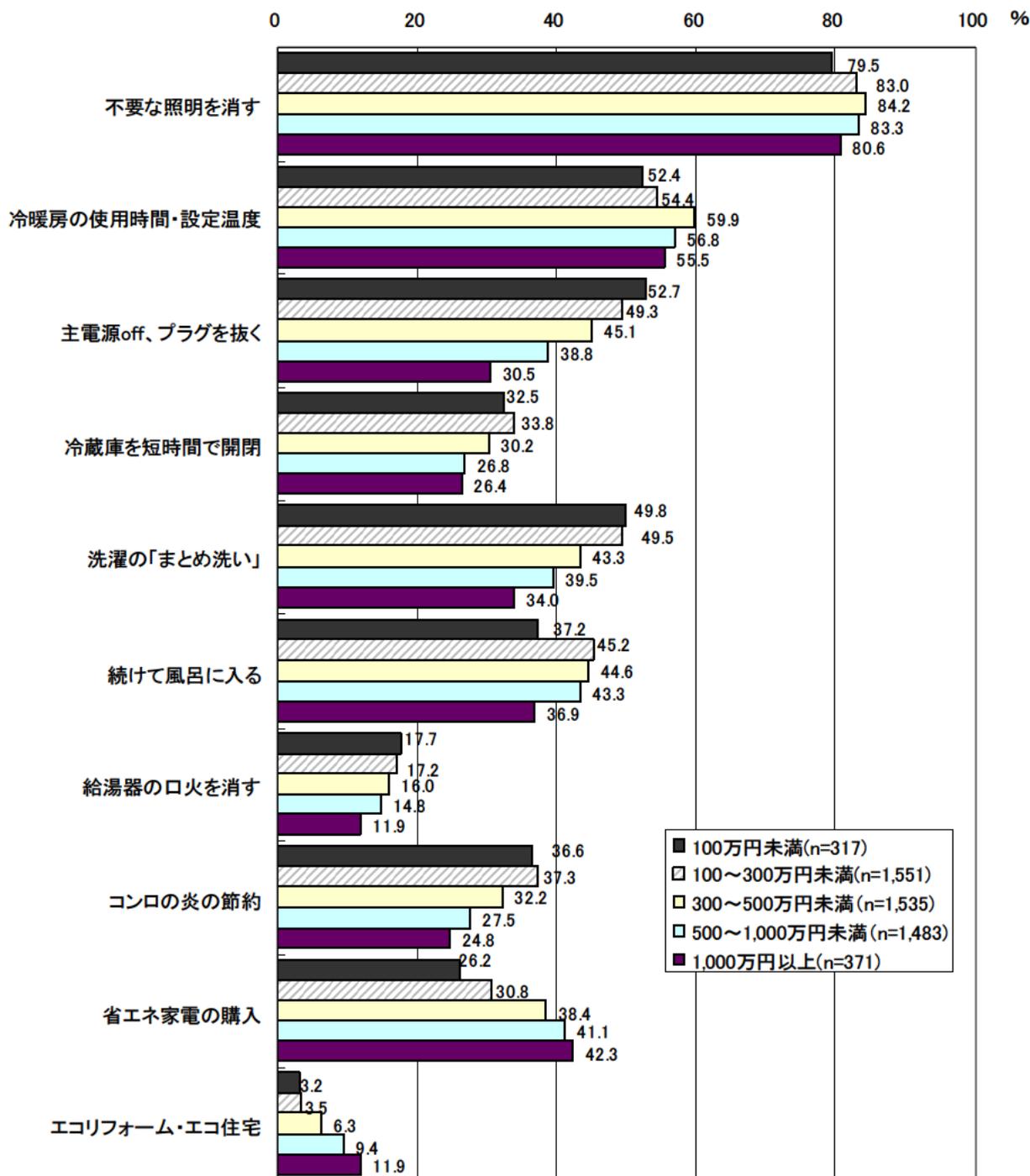
世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
単身世帯	不要な照明を消す 78.4	洗濯の「まとめ洗い」 57.2	主電源off、プラグを抜く 49.9	冷暖房の使用時間・設定温度 49.6	コンロの炎の節約 37.1	冷蔵庫を短時間で開閉 35.2	省エネ家電の購入 24.7
一世代世帯	不要な照明を消す 83.0	冷暖房の使用時間・設定温度 58.7	続けて風呂に入る 51.7	主電源off、プラグを抜く 49.2	洗濯の「まとめ洗い」 46.6	省エネ家電の購入 38.6	冷蔵庫を短時間で開閉 33.9
二世帯世帯	不要な照明を消す 82.7	冷暖房の使用時間・設定温度 56.1	続けて風呂に入る 42.3	主電源off、プラグを抜く 40.3	洗濯の「まとめ洗い」 39.5	省エネ家電の購入 36.0	コンロの炎の節約 31.3
三世帯世帯	不要な照明を消す 83.6	冷暖房の使用時間・設定温度 55.7	洗濯の「まとめ洗い」 44.3	続けて風呂に入る 42.8	主電源off、プラグを抜く 37.6	省エネ家電の購入 33.5	コンロの炎の節約 29.3
その他	不要な照明を消す 79.0	冷暖房の使用時間・設定温度 洗濯の「まとめ洗い」 54.3	続けて風呂に入る 39.5	コンロの炎の節約 37.0	主電源off、プラグを抜く 35.8	冷蔵庫を短時間で開閉 34.6	

【世帯全体の年間収入別】

世帯全体の年間収入額にかかわらず「不要な照明はこまめに消す」が最も高くなっている。

「テレビ、エアコン等の待機電力を消費する製品は、長時間使わないときには主電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜く」、「洗濯はできるだけ『まとめ洗い』をする」については年間収入額が多くなるほど低く、100万円未満はそれぞれ52.7%、49.8%となっているのに対し、1,000万円以上はそれぞれ30.5%、34.0%となっている。一方、「家電製品は省エネルギー型のものを購入する」、「住まいはエコリフォームやエコ住宅の新築を行う」は年間収入額が多くなるほど高くなっている。

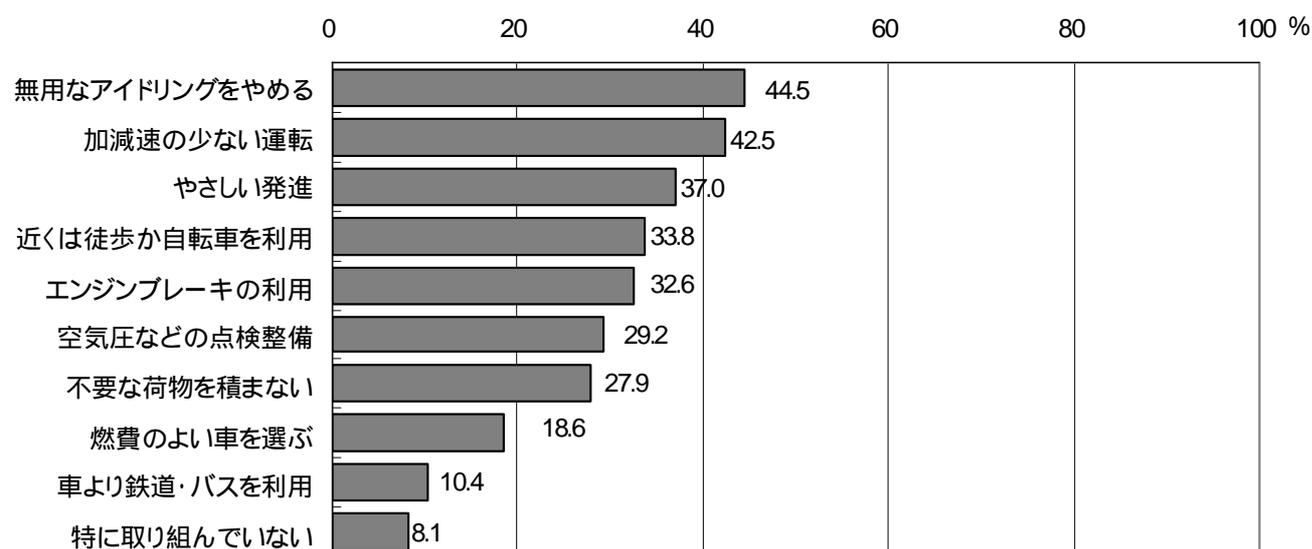
図表 3-6-6 日常生活のなかで実践している地球温暖化対策の取組[複数回答](世帯全体の年間収入別) (%)



同6-2 あなたが、自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組についておたずねします。あなたが積極的に取り組んでいるものはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(はいいくつでも)

自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組については、全ての項目で50%未満の取組状況となっている。その中で、「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」が44.5%と最も高く、次いで「車間距離に余裕をもって加減速の少ない運転をする」(42.5%)、「ふんわりアクセルでやさしい発進をする」(37.0%)などとなっている。

図表3-6-7 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)



【地域別】

北勢地域、伊賀地域、伊勢志摩地域は「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」が、中南勢地域、東紀州地域は「車間距離に余裕をもって加減速の少ない運転をする」が最も高くなっている。

「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」は北勢地域が47.0%と最も高く、最も低い東紀州地域(37.5%)より9.5ポイント高くなっている。

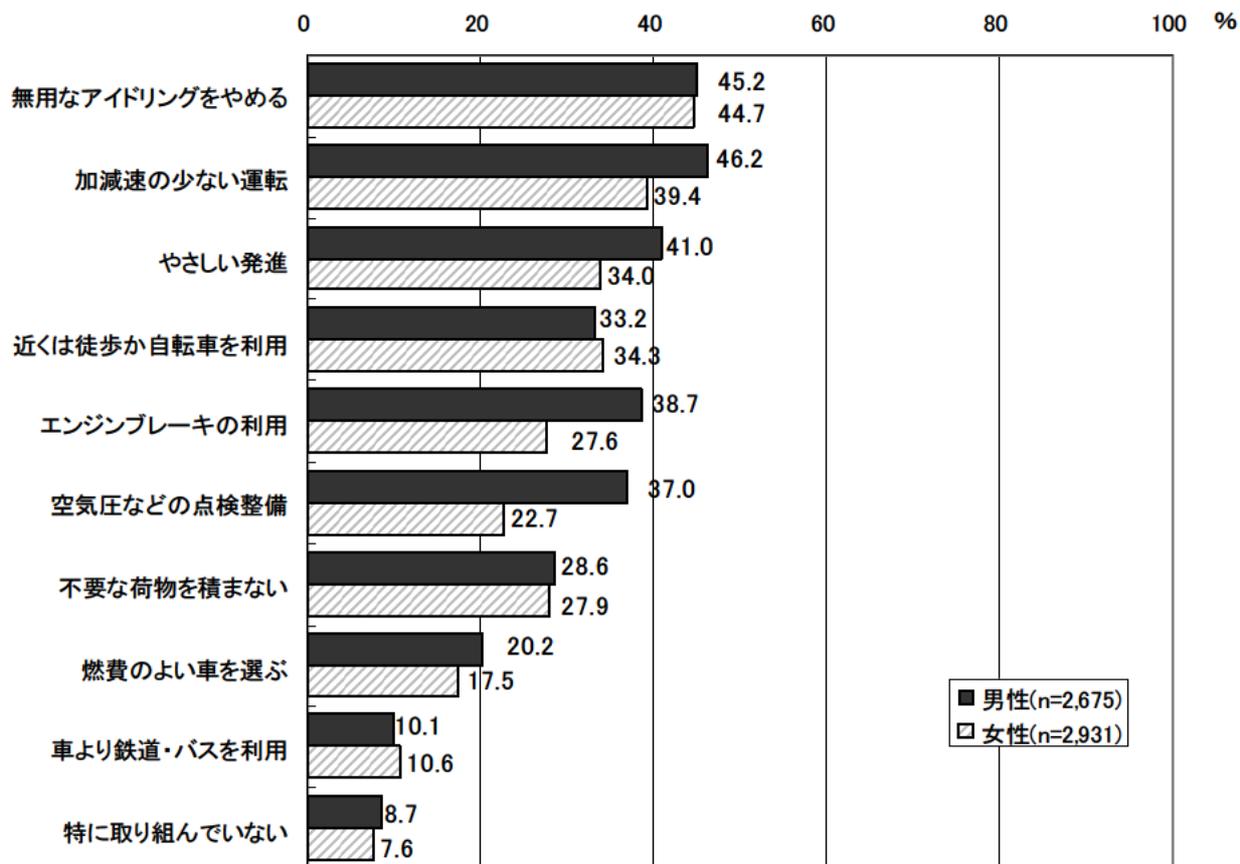
図表3-6-8 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)(地域別上位7項目) (%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
北勢地域	無用なアイドリングをやめる 47.0	加減速の少ない運転 43.2	やさしい発進 38.8	近くは徒歩か自転車を利用 35.7	エンジンブレーキの利用 33.9	不要な荷物を積まない 30.2	空気圧などの点検整備 29.2
伊賀地域	無用なアイドリングをやめる 45.6	加減速の少ない運転 40.2	やさしい発進 34.2	エンジンブレーキの利用 32.1	近くは徒歩か自転車を利用 29.9	空気圧などの点検整備 27.7	不要な荷物を積まない 26.7
中南勢地域	加減速の少ない運転 42.9	無用なアイドリングをやめる 42.2	やさしい発進 36.5	エンジンブレーキの利用 32.5	近くは徒歩か自転車を利用 32.4	空気圧などの点検整備 30.5	不要な荷物を積まない 26.5
伊勢志摩地域	無用なアイドリングをやめる 42.6	加減速の少ない運転 40.9	やさしい発進 36.6	近くは徒歩か自転車を利用 34.3	エンジンブレーキの利用 31.5	空気圧などの点検整備 28.6	不要な荷物を積まない 25.7
東紀州地域	加減速の少ない運転 41.1	無用なアイドリングをやめる 37.5	近くは徒歩か自転車を利用 30.4	やさしい発進 29.0	空気圧などの点検整備 27.2	エンジンブレーキの利用 25.0	不要な荷物を積まない 23.7

【性別】

男性は「車間距離に余裕をもって加減速の少ない運転をする」が、女性は「駐車時や停車時に無
 用なアイドリングをやめる」が最も高くなっている。「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」、
 「早めのアクセルオフでエンジンプレーキを利用する」は男性が女性より 10 ポイント以上高くなっ
 ている。

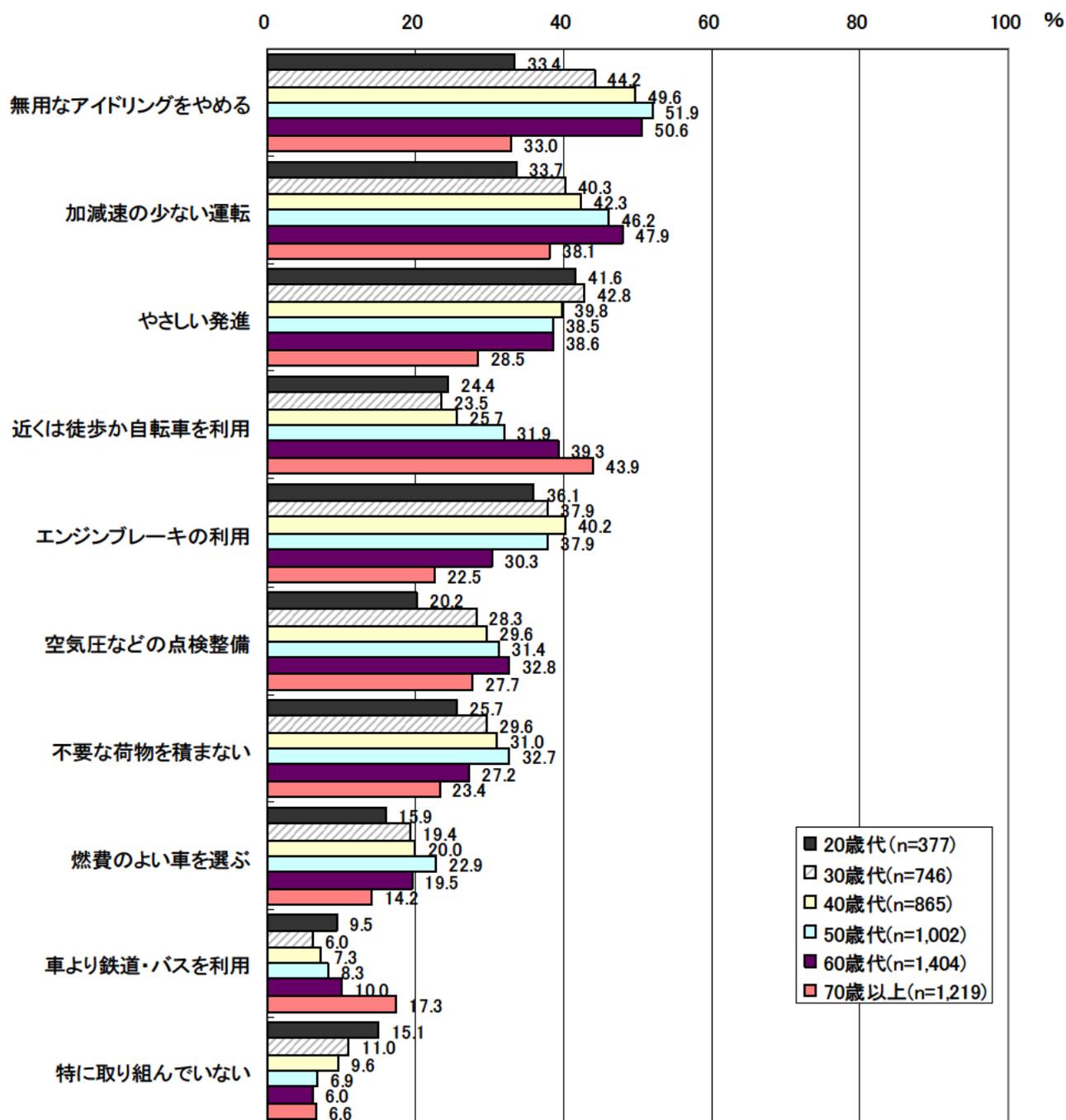
図表 3-6-9 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組[複数回答](性別)



【年代別】

20歳代から60歳代にかけては、「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」、「車間距離に余裕をもって加減速の少ない運転をする」、「タイヤの空気圧など整備点検を心掛ける」などについて、概ね年齢層が高いほど高くなっている。70歳以上では「近くへの用事はなるべく徒歩か自転車で行く」、「車より鉄道・バスを利用」が他の年齢層よりも高くなっているが、他の取組についてはいずれも低くなっている。

図表 3-6-10 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組〔複数回答〕(年代別) (%)



【世帯構成別】

単身世帯は「近くへの用事はなるべく徒歩か自転車で行く」が、単身世帯以外の世帯では「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」が最も高くなっている。

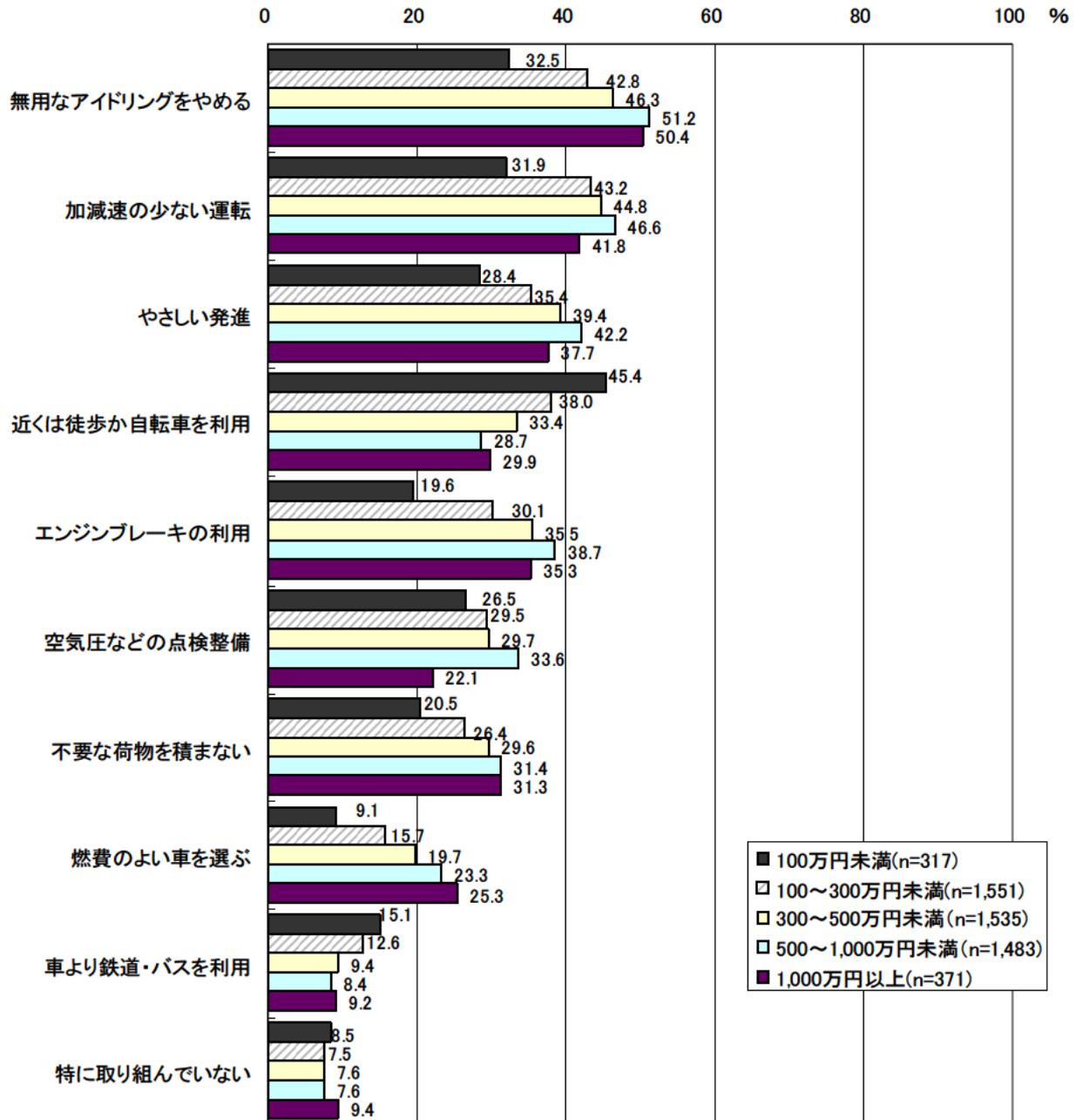
図表 3-6-11 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組(複数回答)(世帯構成別上位7項目) (%)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
単身世帯	近くは徒歩か自転車を利用 34.9	加減速の少ない運転 31.1	やさしい発進 27.8	無用なアイドリングをやめる 26.6	エンジンプレーキの利用 24.2	空気圧などの点検整備 22.8	不要な荷物を積まない 19.7
一世代世帯	無用なアイドリングをやめる 47.5	加減速の少ない運転 45.4	やさしい発進 39.2	近くは徒歩か自転車を利用 38.4	エンジンプレーキの利用 32.9	空気圧などの点検整備 32.8	不要な荷物を積まない 30.3
二世帯世帯	無用なアイドリングをやめる 45.8	加減速の少ない運転 42.8	やさしい発進 37.7	エンジンプレーキの利用 34.6	近くは徒歩か自転車を利用 31.3	空気圧などの点検整備 29.2	不要な荷物を積まない 28.8
三世帯世帯	無用なアイドリングをやめる 46.8	加減速の少ない運転 43.9	やさしい発進 38.7	エンジンプレーキの利用 33.4	近くは徒歩か自転車を利用 32.4	空気圧などの点検整備 27.8	不要な荷物を積まない 26.7
その他	無用なアイドリングをやめる 42.0	加減速の少ない運転 34.6	やさしい発進 32.1	近くは徒歩か自転車を利用 不要な荷物を積まない 25.9		空気圧などの点検整備 エンジンプレーキの利用 23.5	

【世帯全体の年間収入別】

「近くへの用事はなるべく徒歩か自転車で行く」、「車より鉄道・バスを利用」については、概ね年間収入額が少なくなるほど高くなっている。「駐車時や停車時に無用なアイドリングをやめる」、「車間距離に余裕をもって加減速の少ない運転をする」、「早めのアクセルオフでエンジンブレーキを利用する」などについては、概ね年間収入額が多くなるほど高くなっている。

図表 3-6-12 自動車を利用するなかで実践している地球温暖化対策の取組〔複数回答〕(世帯全体の年間収入別) (%)



問6 - 3 地球温暖化を防止するためには、今の生活の仕方（ライフスタイル）を見直さなければならぬという考え方がありますが、あなたはご自身のライフスタイルについてどのようなにお考えですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。（ は1つだけ）

地球温暖化を防止するためにライフスタイルを見直すかどうかについては、「見直したい」と「どちらかといえば見直したい」を合計した肯定的回答の割合が 53.9%で、「見直すつもりはない」と「どちらかといえば見直すつもりはない」を合計した否定的回答の割合（24.9%）より高くなっている。

【地域別】

すべての地域で肯定的回答の割合が否定的回答の割合より高く、50.0%以上となっている。そのうち、「見直したい」は東紀州地域が15.2%と最も高くなっている。

【性別】

男女とも肯定的回答の割合が否定的回答の割合より高く、女性は 58.6%と男性(49.5%)より 9.1ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で肯定的回答の割合が否定的回答の割合より高くなっているが、60歳代以上は他の年代と比べて低くなっている。20歳代は「見直すつもりはない」が 12.2%とやや高くなっている。

さらに、性・年代別でみると、20歳代から50歳代の女性は肯定的回答の割合が 65.0%以上と高くなっている。一方、20歳代の男性は否定的回答の割合が 44.1%で肯定的回答の割合（44.0%）より高くなっている。

【世帯構成別】

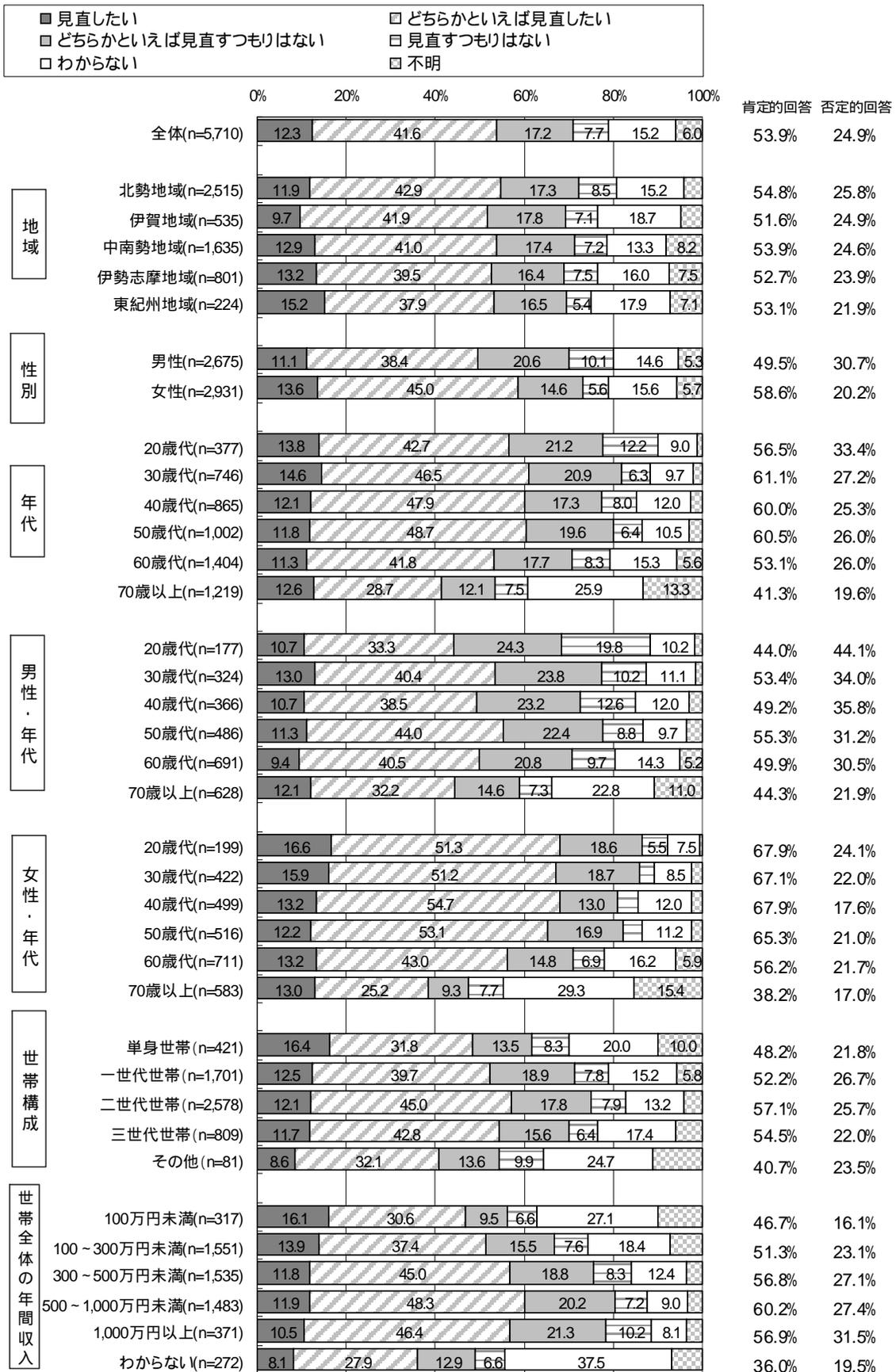
世帯構成に関わらず肯定的回答が否定的回答より高くなっている。

【世帯全体の年間収入別】

世帯全体の年間収入額が 1,000 万円未満の層までは、年間収入額が多くなるほど肯定的回答の割合が高くなっている。また、年間収入額が多くなるほど否定的回答の割合も高くなっており、100万円未満の 16.1%に対し、1,000 万円以上は 31.5%となっている。さらに、年間収入額が少なくなるほど、「わからない」「不明」が多くなっている。

下の図表 3-6-13 に記載の肯定的回答は、「見直したい」と「どちらかといえば見直したい」の割合を合計したものであり、否定的回答は、「見直すつもりはない」と「どちらかといえば見直すつもりはない」の割合を合計したものである。

図表 3-6-13 地球温暖化防止のためにライフスタイルを見直すことについての考え方



問6-4 家庭から排出される温室効果ガスの排出量は、1990年度に比べて2008年度では、約2割増加しており、温室効果ガスの排出削減が進んでいない現状があります。

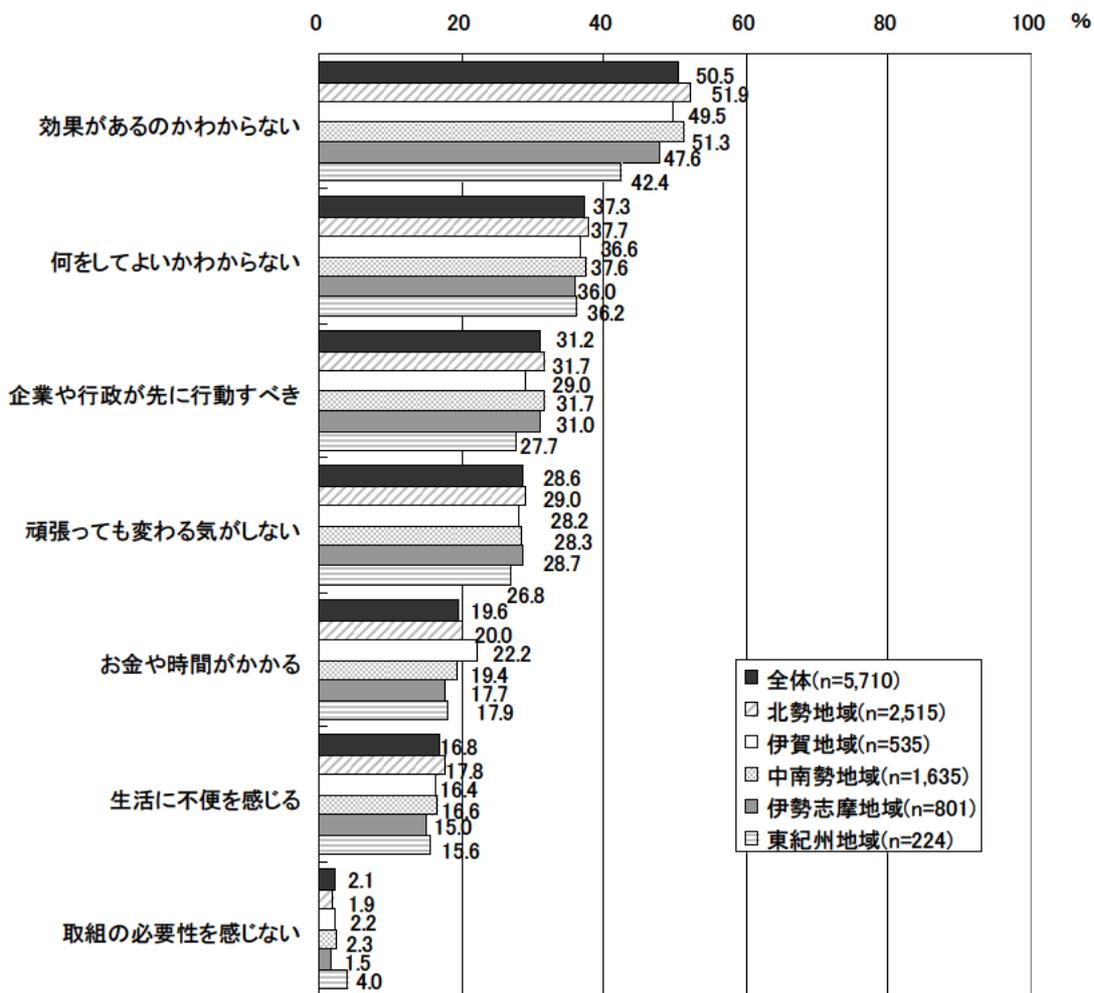
家庭での取組が進まない要因として、あなたはどのような理由があると思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

家庭における温室効果ガスの排出削減に向けた取組が進まない理由を質問したところ、「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が50.5%と最も高く、次いで「具体的に何をしてもよいかかわからないから」(37.3%)、「企業や行政などが、県民より先に行動を起こすべきだと思うから」(31.2%)の順となっている。

【地域別】

すべての地域で「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が最も高く、特に、北勢地域(51.9%)、中南勢地域(51.3%)の順に高く、東紀州地域が42.4%と最も低くなっている。

図表3-6-14 家庭で温室効果ガスの排出削減の取組が進まない理由〔複数回答〕(地域別)



※選択肢のうち、「その他」、「わからない」の値を省略している。

【性別】

男女とも「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が最も高くなっている。次いで、男性は「企業や行政などが、県民より先に行動を起こすべきだと思うから」が、女性は「具体的に何をしてもよいかかわからないから」が、それぞれ高くなっている。

図表 3-6-15 家庭で温室効果ガスの排出削減の取組が進まない理由(複数回答)(性別上位7項目) (%)

性別	1位	2位	3位	4位	5位	6位
男性	効果があるのかわからない 51.7	企業や行政が先に行動すべき 34.2	何をしてもよいかかわからない 34.1	頑張っても変わる気がしない 30.6	お金や時間がかかる 21.6	生活に不便を感じる 17.9
女性	効果があるのかわからない 50.1	何をしてもよいかかわからない 40.4	企業や行政が先に行動すべき 28.6	頑張っても変わる気がしない 27.0	お金や時間がかかる 18.0	生活に不便を感じる 16.1

【年代別】

すべての年代で「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が最も高く、次いで、20歳代から60歳代までは「具体的に何をしてもよいかかわからないから」が、70歳以上は、「企業や行政などが、県民より先に行動を起こすべきだと思うから」が高くなっている。

さらに、性・年代別でみると、「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」は40歳代の男性が59.0%と最も高くなっている。また、「具体的に何をしてもよいかかわからないから」は20歳代および30歳代の女性がそれぞれ47.2%、46.9%と高くなっている。

図表 3-6-16 家庭で温室効果ガスの排出削減の取組が進まない理由(複数回答)(年代別上位7項目) (%)

年代	1位	2位	3位	4位	5位	6位
20歳代	効果があるのかわからない 53.8	何をしてもよいかかわからない 40.1	頑張っても変わる気がしない 37.7	企業や行政が先に行動すべき 29.2	生活に不便を感じる 26.5	お金や時間がかかる 19.1
30歳代	効果があるのかわからない 54.3	何をしてもよいかかわからない 42.2	頑張っても変わる気がしない 31.4	企業や行政が先に行動すべき 23.3	お金や時間がかかる 22.4	生活に不便を感じる 21.0
40歳代	効果があるのかわからない 57.6	何をしてもよいかかわからない 36.3	頑張っても変わる気がしない 29.1	企業や行政が先に行動すべき 25.7	生活に不便を感じる 21.4	お金や時間がかかる 19.9
50歳代	効果があるのかわからない 53.2	何をしてもよいかかわからない 37.7	企業や行政が先に行動すべき 30.1	頑張っても変わる気がしない 29.2	お金や時間がかかる 22.0	生活に不便を感じる 20.3
60歳代	効果があるのかわからない 51.9	何をしてもよいかかわからない 37.5	企業や行政が先に行動すべき 36.8	頑張っても変わる気がしない 27.5	お金や時間がかかる 18.9	生活に不便を感じる 14.0
70歳以上	効果があるのかわからない 40.0	企業や行政が先に行動すべき 35.5	何をしてもよいかかわからない 34.0	頑張っても変わる気がしない 25.0	お金や時間がかかる 17.2	生活に不便を感じる 9.0

【世帯構成別】

世帯構成に関わらず、「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が最も高く次いで「具体的に何をしてもよいかかわからないから」が高くなっている。

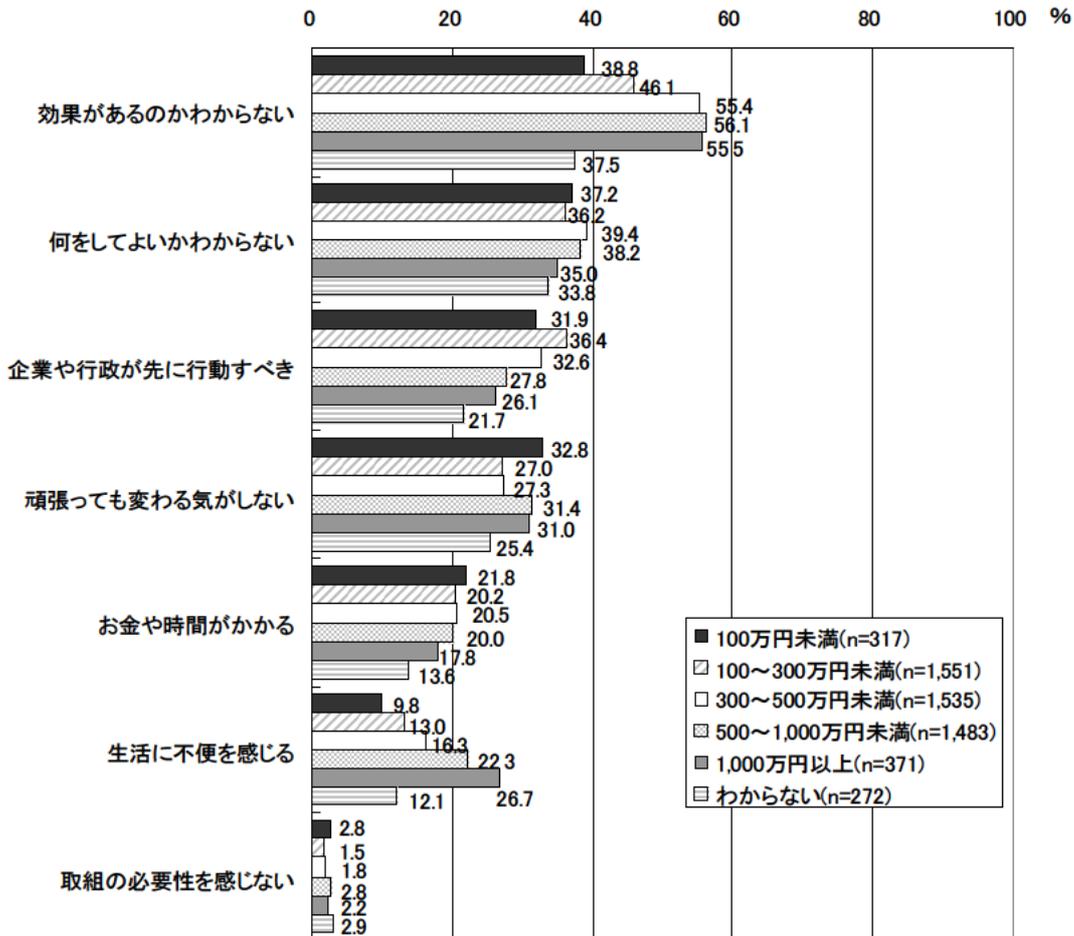
図表 3-6-17 家庭で温室効果ガスの排出削減の取組が進まない理由〔複数回答〕(世帯構成別上位7項目) (%)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位	6位
単身世帯	効果があるのかわからない 39.7	何をしても いかかわら ない 34.4	頑張っても 変わる気が しない 30.9	企業や行政 が先に行動 すべき 27.8	お金や時間 がかかる 17.1	生活に不便 を感じる 15.2
一世代世帯	効果があるのかわからない 51.1	何をしても いかかわら ない 37.5	企業や行政 が先に行動 すべき 36.9	頑張っても 変わる気が しない 27.6	お金や時間 がかかる 19.9	生活に不便 を感じる 15.4
二世帯世帯	効果があるのかわからない 52.8	何をしても いかかわら ない 37.5	企業や行政が先に行動すべき 頑張っても変わる気がしない 29.2	29.2	お金や時間がかかる 20.0	生活に不便を感じる 18.2
三世帯世帯	効果があるのかわからない 51.2	何をしても いかかわら ない 37.9	企業や行政が先に行動すべき 28.9	頑張っても変わる気がしない 27.8	お金や時間がかかる 20.1	生活に不便を感じる 17.2
その他	効果があるのかわからない 44.4	何をしても いかかわら ない 40.7	頑張っても 変わる気が しない 32.1	企業や行政 が先に行動 すべき 25.9	お金や時間がかかる 生活に不便を感じる 19.8	

【世帯全体の年間収入別】

世帯全体の年間収入額にかかわらず「地球温暖化防止にどれくらい効果があるのかわからないから」が最も高くなっている。概ね年間収入額が少なくなるほど「企業や行政などが、県民より先に行動を起こすべきだと思うから」が高くなっている。また、年間収入額が多くなるほど「取組を行うことで、生活に不便を感じるから」が高く、100万円未満の9.8%に対し、1,000万円以上は26.7%となっている。

図表 3-6-18 家庭で温室効果ガスの排出削減の取組が進まない理由〔複数回答〕(世帯全体の年間収入別)



※選択肢のうち、「その他」、「わからない」の値を省略している。